自然共生型農業研究シンポジウム2016

＜開催趣旨＞

本シンポジウムは、内閣府の主催する戦略的イノベーション創造プログラム（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）における「生物間相互作用の解析と植栽管理手法に基づく難防除微小害虫防除のための総合的天敵強化技術の開発・実証」ユニット、「レタスビッグベイン病の発病を軽減し加工業務用レタスに対応可能なpH降下型肥料の開発」ユニット及び「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」ユニットの中心的な研究者から、成果の報告と関連分野における最新の知見紹介を行い、今後の日本における持続的農業の発展と国際競争力の強化に資することを目的とする。また、作物・農産物・食品の網羅的な化学分析（メタボロミクス）に関する最新の知見を通して、化学肥料・化学農薬の削減や有機物施用が作物・農産物・食品の品質・「おいしさ」に与える影響についての議論の場を提供する。

日時：平成28年11月22日（火）10:30～16:45 （開場 9:45～）
場所：とかちプラザ レインボーホール 参加費無料、定員300名
（北海道帯広市西4条南13丁目1 電話：0155-22-7890）

第1部 戦略的イノベーション創造プログラム 病虫害関係研究ユニット成果報告 10:30～15:00

1.「土着天敵を活用した害虫防除の最前線」
宮崎大学・教授 大野和朗 氏

2.「生産現場における天敵利用の現状と展望」
鹿児島県農業開発総合センター・研究専門員 柿元一樹 氏

3.「兵庫県における野菜生産と問題になっている病害について」
兵庫県立農林水産技術総合センター・主席研究員 西口真嗣 氏

4.「北海道におけるジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」
農研機構北海道農業研究センター・研究員 浅野賢治 氏

5.「九州におけるジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」
鹿児島県農業開発総合センター大隅支場・環境研究室長 森 清文 氏

6.「ジャガイモそうか病防除のための新規の機能性肥料と微生物資材の開発」
片倉コープアグリ株式会社筑波総合研究所・主任研究員 三星暢公 氏

第2部 特別講演 15:10～16:45

7.「メタボロミクスによる作物・農産物の成分多様性に影響する環境要因の評価と農学・食品科学のパラダイムシフト」
農研機構食品研究部門・主任研究員 関山恭代 氏

8.「自然共生型農業への展望－総合討議・質疑応答」
片倉コープアグリ株式会社・技術顧問 野口勝憲 氏

主催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

参加申込み・問い合わせ先
農研機構北海道農業研究センター・池田成志
〒082-0081
北海道河西郡芽室町新生南９線４番地
TEL：0155-62-9276、FAX：0155-61-2127
E-mail：tokachi@ml.affrc.go.jp